

## Recovery of dialysis patients with COVID-19: health outcomes 3 months after diagnosis in ERACODA

Hemmelder MH, et al. Nephrol Dialysis Transplant 2022;37: 1140–1151.

doi.org/10.1093/ndt/gfac008.

全文URL : <https://academic.oup.com/ndt/article/37/6/1140/6507563>

### COVID-19 に罹患した透析患者の 3 か月後の健康アウトカムについて : ERACODA データより

COVID-19 感染症に罹患した透析患者の短期的な死亡率が高いことは以前から知られていたが、長期的な予後はあまり知られていなかった。欧州の透析の大規模コホート研究における COVID-19 診断後 3 か月後の患者の回復状況を調査する研究を実施した。欧州腎臓学会 COVID-19 データベース(ERACODA)に 2020 年 2 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの間に登録された COVID-19 罹患患者 2,449 名において、生存期間、機能的・精神的健康状態を調査した。

3 か月後の生存は、入院せずに外来で加療した 1,087 名において 90%、集中治療室に入らない入院を要した 1,165 名では 73%、そして集中治療室に入る必要のあった 197 名では 40%に過ぎなかった。COVID-19 に罹患する前の身体機能や精神機能に戻った患者はそれぞれ 87%と 94%と比較的高かったが、高齢やフレイルティスコアの高さ、ICU への入院が不良な機能的予後と関連した。しかしながら、概して COVID-19 罹患から 28 日から 3 か月の間の死亡率は低く、大半の患者は元の状態に復帰することが明らかとなった。

#### 要約作成者のコメント :

透析患者における COVID-19 の短期予後は不良であることがわかっていましたが、中長期の予後は不明でした。しかし、明らかに長期の治療を要した患者さんでは、その後の身体的な回復は遅れる傾向にあることが臨床の肌感覚としてありました。今回の論文ではその肌感覚に近い結果が得られたものと考えます。このことは日々の透析管理の中で、身体的な虚弱の進行をいかに防ぐか、そしていかにして COVID-19 の重症化を予防するか、ということに尽きると考えます。パンデミックが落ち着きを見せ、時間とともにワクチン効果が減弱していく中で、私たちはもう一度ワクチンや日々の感染対策を見直しておくことが大切だと思います。COVID-19 はまだ完全には消え去ったわけではなく、戦いは続いているのですから。

要約作成者: 名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部 今泉 貴広